



腸閉塞・イレウスのヒント

Q1

大腸を手術して3ヶ月ほど経ちますが、便秘や下痢を繰り返し腹痛が続きます。空腹感があり食事は食べたいのですが、食べても大丈夫でしょうか？

A1

「腸閉塞・イレウス」のヒント

- 1.大腸手術後の食生活では、原則として食事に制限はありませんが、切除後は腸運動が十分に回復していないこともあるので、少しずつ、ゆっくりと、よく噛んで食べましょう。また、食べ過ぎに注意することも大切です。
- 2.腸内の善玉菌を増やしましょう。(ヨーグルト等の乳酸菌)
- 3.食物繊維の多い食べ物や、消化しにくいものは避けましょう。
(海藻類、きのこ類、こんにゃく、ごぼう等)
- 4.規則正しい食事を心がけましょう。

症状出現の考え方、症状が出やすい治療法

腸内容の通過障害が何らかの原因によりおこり、腸液、ガス、糞便などが腸内腔に充満し、排便や排ガスがなくなり、腹痛、嘔吐、腹部膨満などの症状が出現します。特に開腹手術後の腸管炎症により起こる癒着が原因となることもあります。

症状が出現しやすい時期・期間

手術から回復し、4～5日後くらいに腸管が動くとおならとなって出ます。いったん動き始めた腸が、食事を開始してしばらくすると動きが悪くなり、お腹が張ってくる場合があります。

日常生活の注意点

食事開始後に症状が続く場合は腸閉塞などの原因も考えられます。無理に食事をとることは重篤な全身症状を起こすこともあるため、早い段階で主治医にご相談ください。

連絡先(医療機関名)

がん情報サイト
Assist
はこちら



<https://oncology-assist.jp/public/>